

ウィーンフィルの音色が再び酒々井に

# パラシュケヴォフ ヴァイオリンコンサート

## 主催者挨拶

本日は、NPO法人 輝け酒々井まちづくり研究会が開催致しますコンサートに多くの皆様にお越し頂き誠に有り難く厚く御礼申し上げます。

私達のNPO法人は、設立以来、毎年著名な音楽家を酒々井町にお招きし、町民の方々を始め多くの方々に高品質の音楽を提供し、心豊かなまちを造る活動を行ってまいりましたが、先の2年間はコロナ禍により中断を余儀なくされました。

現状は、未だコロナ禍が完全に終息したとは言えませんが徐々に終息に向かっている状況を踏まえ、定められた対策の下、このコンサートを再開し皆様のご要望にお応えすることに致しました。

この度、開催致しますコンサートは、2018年3月に開催しましたコンサートでお招きしました世界的なヴァイオリン奏者、元ウィーンフィルコンサートマスターのヴェセリン パラシュケヴォフ（Vesselin Paratchkevov）氏と国内外で活躍されているピアニストの原万佑子さんを再びお迎えし、コンサートを開催することに致しました。

私達は、住民の方々が安全で安心して暮らせる共助のまちを皆様と共に実現する活動を行っているNPO法人です。この音楽会を通じて御来場の皆様が心豊かになり、相互に助け合う心が育まれた共助のコミュニティ作りが一層前進するよう願っております。


本日は、短い時間ではありますが、クラシック音楽の真髄をヴァイオリンの音色に乗せて御堪能下さい。

令和5年3月26日

NPO法人 輝け酒々井まちづくり研究会  
理事長 山本 孝一



2018年3月18日開催のコンサート

主催：  NPO法人 輝け酒々井まちづくり研究会 後援：酒々井町  
連絡先：080-2566-3233(山本)

私達は、住民によるまちづくりの輪が広がることを願って活動しています。  
【住民活動団体の応援・コーディネート、住民交流イベントの開催、まちづくり情報収集・広報活動】

2023年3月26日（土）  
プリミエール酒々井 文化ホール

## 演奏プログラム

### 第一部

#### W.A.モーツァルト: ピアノとヴァイオリンのためのソナタ 変ロ長調 KV.378 (W.A.Mozart: Sonata for Piano and Violin KV 378 B-Dur)

このヴァイオリンソナタは、2年近くにも及んだパリ旅行中に母も失うという傷心の中でザルツブルグに帰郷したあと1779年初め頃に作曲されました。しかし、この作品にその様な傷心の影はみじんもありません。それよりも、青年モーツァルトの伸びやかな心そのまま音楽になったような雰囲気作品全体をおおっています。華麗で優雅、流麗な楽想、洗礼された雰囲気、華やかなピアノの活躍などが際立っている作品で、パリ風の優美でエレガントな表現が、モーツァルトの個性と完全に同化して、モーツァルトのヴァイオリンソナタの中でも特に親しまれ、演奏されることが多い作品です。

##### 第1楽章 アレグロ・モデラート

4分の4拍子。ソナタ形式で、3つの主題を持っている。抒情的な性格の2つの主題を軸にして構成されており、繊細な陰翳に富んだ柔らかな世界の広がりを見せている。

##### 第2楽章 アンダンテ・ソステヌート・エ・カンタービレ

変ホ長調、2分の2拍子。三部形式で、気品を感じさせるソット・ヴォーチェのカンタービレで、内面的で情緒豊かな表現が聴き手を魅了する楽章である。

##### 第3楽章 ロンドー・アレグロ

8分の3拍子。エレガントなフランス風の優雅なロンドーによるフィナーレで、躍動感に富んだ主要主題を軸にして構成され、明るく、華やかに作品の最後を盛り上げている。

#### A.ドヴォルザーク: ロマンズ へ短調 Op.11 (A.Dvorak: Romance f-moll Op.11)

この曲は、アントニン・ドヴォルザークが作曲し1879年に出版されたヴァイオリンと管弦楽のための単一楽章の作品で、ヴァイオリン奏者フランティšek・オンドジーク・チェクへ献呈されました。ヴァイオリンとピアノのための作品へはドヴォルザーク自身の手によって編曲されました。

アンダンテ・コン・モート (Andante con moto)、へ短調、ソナタ形式。

弦楽四重奏曲第5番からの引用である優美な旋律が、似た特徴をもつ対比調の主題を導き出す。不安定な主題がそのあとに続き、和音の挿入部に入る。やがて、最初の穏やかな雰囲気が優勢になり、主題が戻ってくる。曲の最後はへ長調で終わる。

#### F.シューベルト: 歌曲集「白鳥の歌」D957 より セレナーデ (F.Schubert: Serenade from Schwanengesang D 957)

白鳥の歌 (はくちょうのうた、Schwanengesang) は、フランツ・シューベルトの遺作をまとめた歌曲集。ハイネ他3人の詩人による14の歌曲からなりますが、自身が編んだ『美しき水車小屋の娘』、『冬の旅』とは異なり、『白鳥の歌』は本人の死後に出版社や友人たちがまとめたものであり、歌曲集としての連続性は持っていません。

「セレナーデ」(Ständchen) は14曲中の第4曲で二短調、4分の3拍子。

シューベルトの歌曲の中で最も有名なものの一つで、恋人に対する切々たる思いを歌いあげる曲です。種々の楽器編成で編曲版が愛奏されています。

(休憩 15分)

### 第2部

#### C.フランク: ピアノとヴァイオリンのためのソナタ イ長調 FWV 8 (C.Franck: Sonata for Piano and Violin A-Dur FWV 8)

この曲は、ベルギー出身の作曲家・オルガニストであるセザール・フランクが、1886年に作曲したヴァイオリンとピアノのためのソナタです。

フランス系のヴァイオリンソナタの最高傑作といわれ、同郷の後輩であるヴァイオリニストのウジェーヌ・イザイに結婚祝いとして作曲され、献呈されました。初演は1886年12月16日にイザイによってブリュッセルで行われました。このソナタはピアノとヴァイオリンの音楽的内容が対等であり、ピアノはヴァイオリンの伴奏ではなく、ヴァイオリンも単なる独奏楽器ではなく、ピアノとヴァイオリンの二重奏曲と呼ぶべき大曲となっています。全4楽章からなり、いくつかの動機を基にして全曲を統一する循環形式で作曲されています。

##### 第1楽章 アレグレット・ベン・モデラート

イ長調、8分の9拍子、展開部のないソナタ形式。

属九の和音による開始は非常に印象的であり、第2主題はもっぱらピアノのみによって奏される。

##### 第2楽章 アレグロ

二短調、4分の4拍子、ソナタ形式。きわめて情熱的な楽章で、ピアノとヴァイオリンの双方に高度な演奏技術を要する。

##### 第3楽章 幻想的な叙唱: ベン・モデラート

2分の2拍子。「幻想的な叙唱」(Recitativo-Fantasia) と題された、自由な形式による楽章。調性表記は無いが、転調を重ねて最後には嬰へ短調で終結する。

##### 第4楽章 アレグレット・ポコ・モッソ

イ長調、2分の2拍子、ロンドソナタ形式。ヴァイオリンとピアノのカノン風の楽想による、最後を飾るにふさわしい輝かしいフィナーレである。

## 演奏者プロフィール



Vn/ヴェセリン  
パラシュケヴォフ

ブルガリア、ソフィア近郊で生まれる。ソフィアの国家試験を最優秀で終えた後、レニングラード(現サンクトペテルスブルク)で、ミッシャ・ファイマン教授に師事、その後ウイーンでマイスターコース、ジュネーブでヘンリック・O・シェリングの指導を受ける。1973年からウィーンフィルのコンサートマスター、1975年からケルン放送交響楽団の第一コンサートマスター、1980年サシコ・ガブリロフ教授の後任としてエッセン音楽大学教授に招かれ就任、2019年に退任。演奏活動はヨーロッパ各地、アメリカ、ロシアにわたり、日本でも、指導者、ソリストとして東京・大阪を中心に活動。現在はコロナ禍によりドイツ国内以外の活動は中断中。



Pf/原 万佑子

桐朋学園大学音楽学部卒業、同大学研究科修了。ドイツ国立フォルクバンク芸術大学大学院修了。第22回彩の国・埼玉ピアノコンクールF部門銀賞。第4回東京ピアノコンクール一般A部門第1位、及びロシア音楽賞受賞。第32回飯塚新人音楽コンクール第2位。デュッセルドルフ・スタインウェイ賞入賞。ピアノを重松聡、多紗於里、仲道郁代、中井恒仁、ヘンリ・ジークフリートソン各氏に師事。デュオをヴェセリン・パラシュケヴォフ氏に師事。